



昭和38年度事業報告
1963. 4. 1 ~ 1964. 3. 31

1. 概 況

前年度に引き続き、当館内で府立総合資料館新設のための整理・準備作業を10月中まで行なった。また準備された資料および当館所蔵の資料の一部を資料館舎に移転させる作業を春・秋2度にわけて実行した。11月15日資料館開館にもなると、府立図書館岡崎本館の職員は66名から18名に減少した。同時に岡崎本館をより親しみやすい図書館とするため、長年の懸案であった館舎の改修工事が着手された。この館舎は明治42年創設のもので歴史的建築的にみて記念すべき建造物であるので原型をなるべく変更することなく外装工事が行なわれるよう計画されている。

2. 貸出室の設置と児童図書の貸出準備

府民全般へのサービス方法の一つとして、また、手持の図書がフルに活用される体制をとるため館外貸出を計画準備中である。本館では貸出室（新設）と児童室でその準備がおこなわれ、市内分館でも新たに伏見分館でちゅちゅと準備が進められている。

3. 館内利用者（本館および市内3分館）

本館および市内3分館における本年度内利用者総数は248,795人（1日平均894人）である。これを戦前最高の昭和10年の利用者総数129,782人（1日平均399人）と比較すると、約2倍に当るわけである。

戦前と戦後における図書館の館内利用者の動きは右のとおりである。

	戦 前	戦 後
利用者総数	4,288,759 明治31—昭和20 48年間	4,932,945 昭和21—昭和38 18年間
女子利用者数	224,707 明治39—昭和20 40年間	1,346,726 昭和21—昭和38 18年間

4. 京都市内4館の利用者の内訳

	本館	伏見分館	中京分館	上京分館	合計
利用者数(人)	137,884	50,841	27,297	32,773	248,795
利用冊数(冊)	119,403	45,616	46,325	37,995	249,339
開館日数(日)	279	285	288	280	—
1日平均利用者数(人)	497	178	95	124	894
男 (%)	74	61	82	64	70.9
女 (%)	26	39	18	36	29.1
一般 (%)	13	6	70	5	16.8
学生 (%)	87	94	30	95	83.2

岡崎本館における学生の類別利用率はつぎのようになっている。

大学生	25%	中学生	11%	各種学校	25%
高校生	33%	小学生	6%		

5. 利用図書の内容

岡崎本館での図書利用冊数は、約12万冊で、1日平均428冊である。これを図書の分類別にみると右のとおりである。

総記	4.0%	自然科学	16.0%	語学	6.6%
哲学・宗教	4.0	工学	5.4	文学	13.2
歴史・地理	11.8	産業	1.6	児童	11.7
社会科学	11.6	芸術	3.9	新聞・雑誌	10.2

6. 館外貸出冊数

(1) 個人貸出(中京分館)

中京分館では一般成人・勤労青年を対象として、個人への館外貸出を実施している。毎月約650冊の貸出があり、本年度内の貸出総数は7,579冊である。

交通の便にめぐまれているため、サラリーマン、B・G、商工関係者、主婦たちによるこぼれている。

(2) 団体貸出(地方6分館)

地方の6分館において、各種団体に対し、長期貸出(期間1カ月)を行なっている。本年度内の貸出冊数は65,901冊である。

なお、これらの長期貸出図書は、1カ月の貸出期間中に各冊平均3人の手を経て読まれているから、この分の本年度利用者総数は約200,000人と推定される。

これを団体種別よりみる延べ利用回数は右のとおりである。

青年団	78	学校	26
公民館	59	会社・工場	149
図書館	11	P. T. A	11
官公署	372	青年学級	31
読書会	1,553	婦人学級	16
婦人団体	159	その他	44

7. 児童室

子どもたちにより環境を与え、読書を楽しいものとし、読書を生涯の習慣として身につけさせるために、子ども向けの学習書と一般読書を3,500冊用意している。本年度の利用者総数は6,472人(男73%、女27%)で、母と子の図書館利用図書の貸し出しなどの積極的なサービスを準備中である。

8. 蔵書冊数

昭和38年度末における当館の蔵書冊数は約 98,000冊となっている。その各館別の内訳は右のとおりである。

本年度内における本館の蔵書の減少は総合資料館へ保管転換によるものである。

本館	46,273 (冊)	峰山地方分館	5,929 (冊)
伏見分館	8,060	宮津地方分館	5,524
中京分館	6,725	綾部地方分館	5,309
上京分館	7,153	園部地方分館	4,655
		北桑地方分館	3,924
		木津地方分館	4,338
		合計	97,890

9. 分館

(1) 伏見分館 (昭和25年2月開設)

この分館は、はじめ他の建物の一部を借りて出発したが、昭和29年、新館舎の完成とともに移転再開した。敷地 859 平方メートル、閲覧室 231 平方メートル、座席 120 である。岡崎本館から 8 キロはなれたところにあるこの分館は、現在の開館時間 (平日正午～午後 6 時) になってから、利用者数 5 万人をこえる最高を記録した。なお、ますます府洛南地区への図書館サービスを多角的に拡大しつつある。

本年度の入館者数は 1 日平均 178 名、1 日最高 402 名であった。

(2) 中京分館 (昭和24年6月開設)

この分館は、当初丸善京都支店の地下室を借用してきたが、丸善支店の都合により、一時閉館し、昭和32年6月に烏丸丸太町下ル京都府烏丸庁舎の 3 階 228 平方メートルを利用して再開した。

中京分館は、新刊の小説・随筆・新聞・雑誌を中心に、完全開架制をとり、気軽な市民の読書室として多くの人々に喜ばれている。なおこの分館の所在地は、京都商工会議所に近く、商工業者の利用を促進する目的をもって、商工業関係の図書・雑誌・パンフレット類の収集につとめている。

本年度の入館者数は一日平均 95 名で、一般人が学生よりもはるかに多く 70% を占めている。

なお、利用者の便宜をはかり、個人への館外貸出を実施しており、毎月約 650 冊の貸出がある。

(3) 上京分館 (昭和26年4月開設)

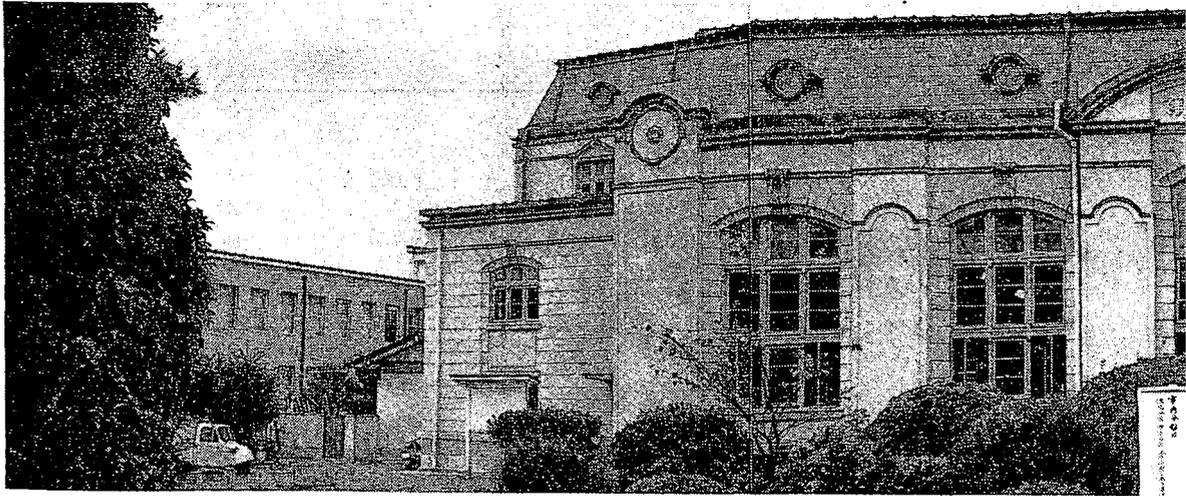
上京分館は昭和26年4月クルーガー図書館と合併して、最初紫郊会館の一室を借用して発足した。この分館は市の北部地区の人々にサービス活動してきたが、都合により北部地区婦人会の協力で昭和31年4月現在の北区等持院東町財団法人桜谷文庫故木島桜谷画伯の元画室に移り、現在では西部地区の人々に利用されている。ここは市電・京福電鉄・国鉄バスの交差点白梅町から西北 500 メートルに位置し、周囲は住宅地である。敷地 1,127 平方メートル、閲覧室 198 平方メートル、座席約 80 を有し、広い庭を前に控えて明るく読書に快適である。

本年度入館者数は 1 日平均 124 名・1 日最高 299 名であった。

(4) 地方分館

昭和25年に、峰山・宮津・綾部の 3 館、次いで昭和27年に、園部・北桑・木津の 3 館が開設され、現在の 6 館である。これらの地方分館は、地域内の公民館、婦人会、読書会などの団体に対して、30冊～50冊を 1 カ月の期間で団体貸出を実施している。

この 6 館の利用の状況は、利用団体の面では、農村青年の離村の影響から、青年団の利用は大きく減少したほか公民館の利用も少なかったが、官公署、婦人団体、会社工場、及び高校生などの利用は増大した。読書傾向の面からみると、各読書グループ、官公署、会社工場等への文学書の貸出しを筆頭に、婦人団体による「幼児のしつけ」とか「幼児教育」……等の家庭教育関係の図書の利用が多く、紀行書もよく利用された。その他学習参考書を求める高校生が多くなった。



なお、文部省の国庫補助を得て、「巡回文庫」を購入し、6 地方分館に配置して、地域の読書活動を援助しているが、この「巡回文庫」は、「子供会」と「婦人団体」を対象に各々12組、計24組を編成して指定の団体に巡回した。

館名	利用団体数	利用冊数(冊)
峰山地方分館	669	14,246
宮津地方分館	735	11,460
綾部地方分館	146	7,333
園部地方分館	387	9,592
北桑地方分館	267	11,744
木津地方分館	411	11,526
合計	2,611	65,901

10. 経 費

本年度の諸経費は約3,260万円以内で内訳は右のとおりである。

なお、本年度末における館員数は館長以下主事24名・主事補8名・事務員1名・労務者2名計36名である。

費目	金額	比率
人件費	27,403千円	84.05(%)
図書館資料費	3,020 "	9.26
(図書費)	2,323 "	
（定期刊行物）	697 "	
その他の経費	2,181 "	6.69
計	32,604千円	100.0

京都府立図書館所在地一覧

館名	所在地	電話	館名	所在地	電話
本館	京都市左京区岡崎成勝寺町9	0069 ①2450	宮津地方分館	宮津市鶴賀	宮津2730
伏見分館	京都市伏見区瀬戸物町746	@9148	綾部地方分館	綾部市並松町	綾部1320
中京分館	京都市中京区烏丸通丸太町下ル(京都府烏丸庁舎3階)	230916	園部地方分館	船井郡園部町字小松町	園部 250
上京分館	京都市北区等持院東町56	@9396	北桑地方分館	北桑田郡京北町字下中	弓削 40
峰山地方分館	中郡峰山町字丹波	峰山364	木津地方分館	相楽郡木津町字南畑外	山城 木津 578